

5 - 3 東海地方における地震活動の変化 Seismic Activity in the Tokai District

気象庁地震予知情報課

Earthquake Prediction Information Division, Japan Meteorological Agency

第1図は東海地方における最近5年間(1995年5月1日~2000年4月30日)のM3.0以上、深さ60km以下の地震活動の変化を示したものである。また、第2図は1998年11月からの最近2年間のM2.0以上の地震活動を見たものである¹⁾。これらの図に示したA,B,Cの3領域の地震活動に見られる主な変化は次の通りである。

A領域:1997年から1998年にかけて、若干地震数が少なかったが、その後1998年4月22日M5.4の三重・岐阜県境の地震、6月23日M4.2の三重・奈良県境の地震が発生した。1999年1月下旬からは三重県中部の地震活動が始まり、地震回数が増加したが、活動はほとんど収まった(第2図)。1999年後半からは、愛知県周辺など領域北部のフィリピン海スラブ内および地殻内でM3以上の地震活動がやや活発だった。本年に入り、M3以上の活動がしだいに低調になる中で、10月31日三重県中部のフィリピン海スラブ内でM5.5の地震が発生した(第1図)。

B領域:1998年頃から全体的に静かな状態だったが、本年に入り静岡県内陸部でM3以上の地震が増加傾向になっている(第1図)。M2以上の地震活動で見ると、1999年5月7日、静岡県中部(静岡・山梨県境付近)のM4.7の地殻内で発生した地震の後、1999年後半から本年にかけ地震がやや少なかったが、最近はほとんど定期的に発生している(第2図)。2000年5月~2000年10月の期間に、B領域で発生したM3以上の地震は6個で、1989年からの累計は137個である*¹⁾。

C領域:新島・神津島付近では、1996年末から、M3を越えるような集中的な地震活動がなかったが、1999年になって3月28日M5.0の地震を含むバースト的な活動が発生した。その後はM3クラスの地震が散発的に発生する程度で、地震が少ない状態が続いた。このような中で、本年6月26日から三宅島の火山活動を契機に始まった群発地震活動は三宅島西方沖から新島・神津島近海に移動し、8月中頃まで非常に活発な状態が続いた。その後、活動はかなり減衰したが、まだM3クラスの地震を含む活動が続いている。伊豆半島付近では1998年4月の伊豆半島東方沖の群発地震活動以後、活動レベルが低い状態が続いている(第1図、第2図)。

参 考 文 献

1)気象庁地震予知情報課:東海地方における地震活動の変化,連絡会報,64(2000),243-247

* 1)これら6個の地震は以下の通り。1989年7月から2000年4月までの地震は、連絡会報第44~64巻「東海地方における地震活動の変化」の末尾に掲載。

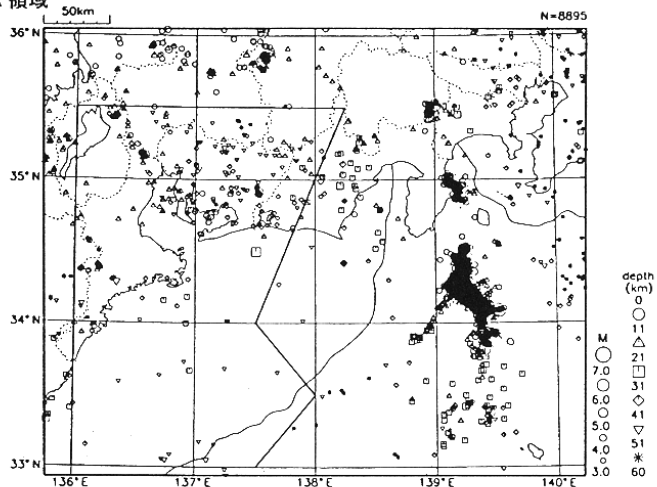
No.	年	月	日	時分	深さ	M	最大震	地域
132	2000	05	04	17 53	19.0	3.1	1	静岡県西部
133	2000	07	01	06 07	13.8	3.1		山梨県中西部
134	2000	08	12	02 39	25.5	3.5	2	静岡県中部
135	2000	08	30	19 48	30.6	3.6	1	静岡県中部
136	2000	10	11	23 03	26.0	3.6	2	静岡県中部
137	2000	10	26	23 40	26.8	3.6	1	静岡県中部

東海地方における地震活動の変化（最近5年間）

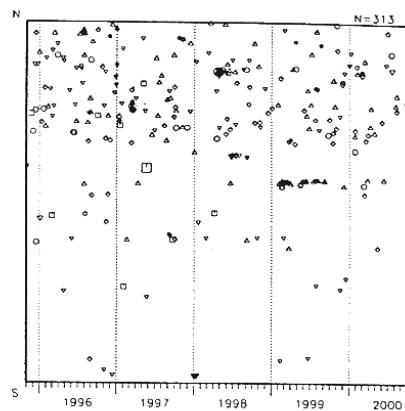
1995年11月1日～2000年10月31日 M \geq 3.0 深さ: 0～60km

①震央分布図

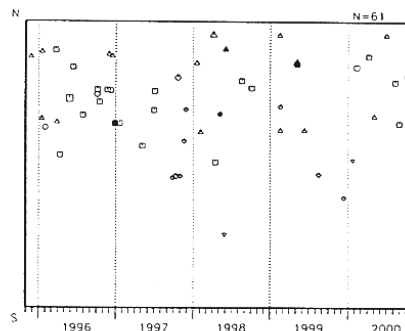
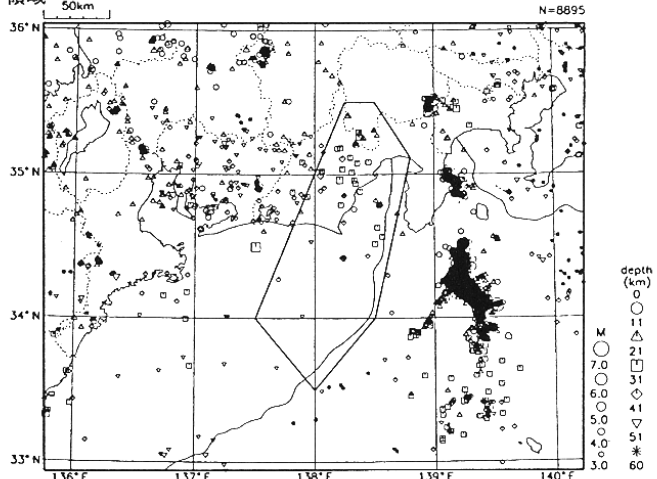
A領域



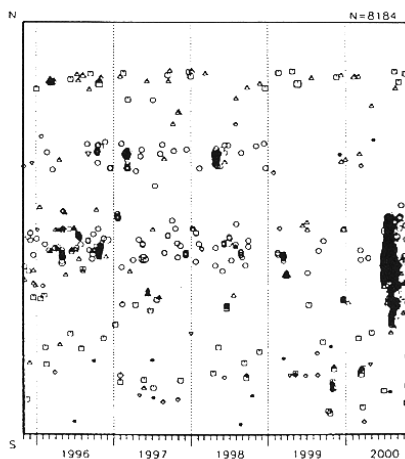
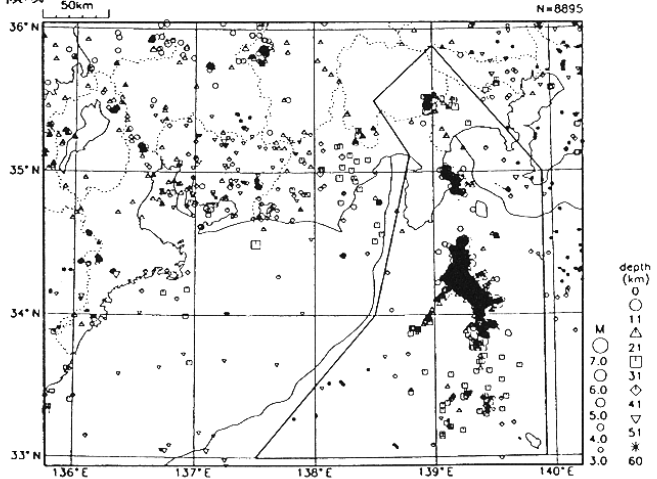
②時空間分布図



B領域

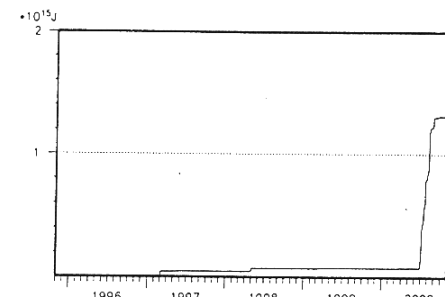
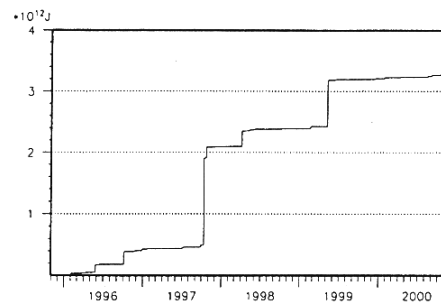
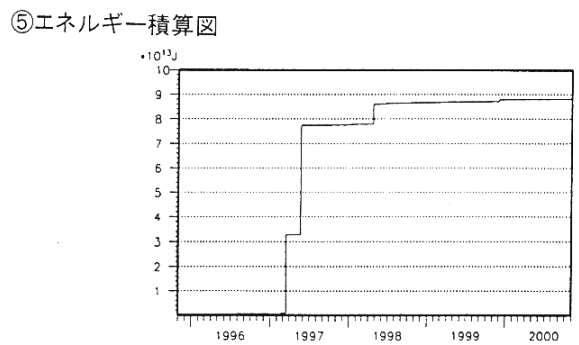
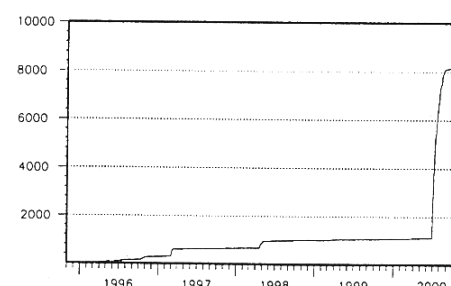
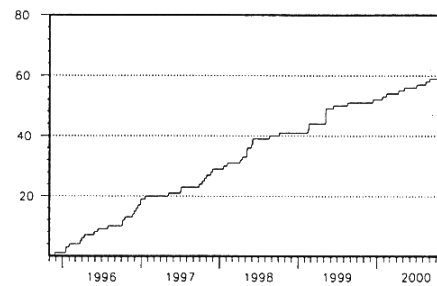
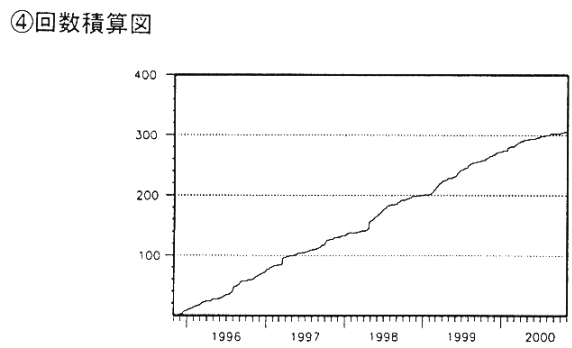
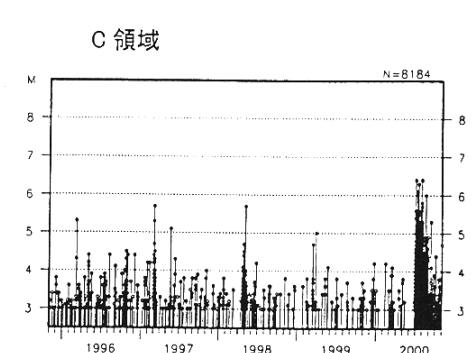
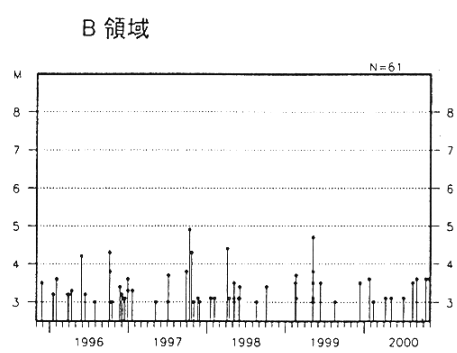
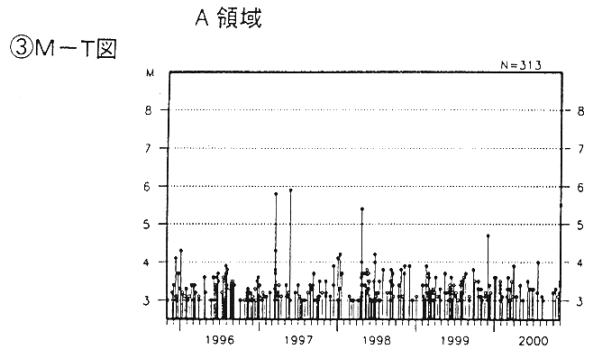


C領域



第1図 東海地方のA,B,C領域における最近5年間の地震活動（1995年11月1日～2000年10月31日：M3.0以上，深さ60km以浅）震央分布，時空間分布，M-T図，地震回数積算図，エネルギー積算図

Fig. 1 Seismic Activity in the A,B,C regions in the Tokai District during 5 years (November 1, 1994 – October 31, 1999 : M 3.0, depth 60km). :Epicentral distribution, :Space-time plot, :M-T diagram, :Cumulative number of earthquakes, :Cumulative energy of earthquakes.

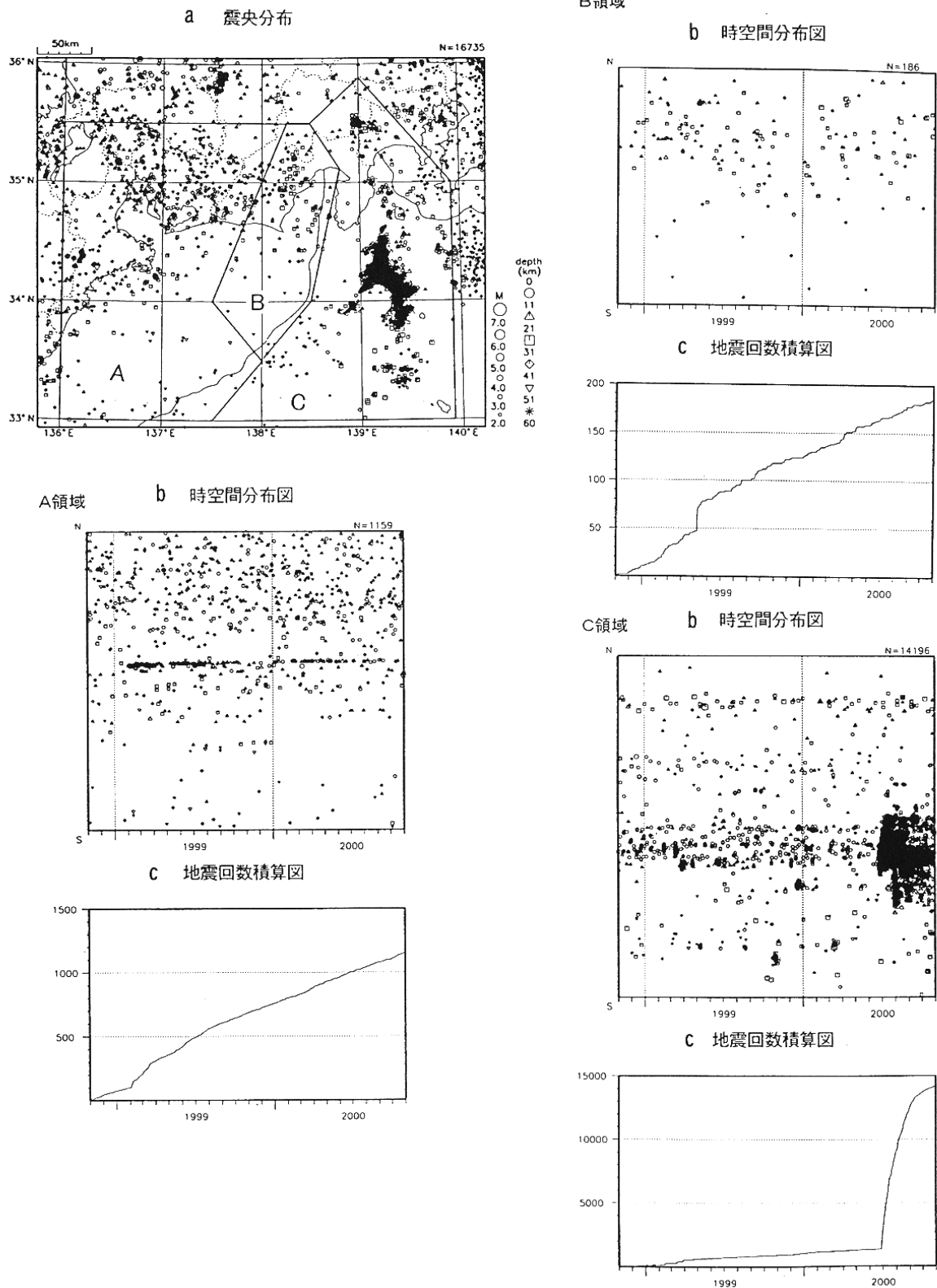


第1図 つづき。
Fig.1 Continued.

東海地方における地震活動の変化（最近2年間）

1998年11月1日～2000年10月31日

M \geq 2.0 深さ: 0~60km



第2図 東海地方のA,B,C領域における最近2年間の地震活動（1998年11月1日～2000年10月31日：M 2.0以上、深さ60km以浅）a：震央分布，各領域のb：時空間分布，c：地震回数積算図

Fig.2 Seismic Activity in the A,B,C regions in the Tokai District from November 1, 1998 through October 31, 2000 (M \geq 2.0, depth \leq 60km). a: Epicentral distribution, b: space-time plot, c: cumulative number of earthquakes for each region.